

平成21年度予算

◎第18号議案・平成21年度
白石市一般会計予算

総務財政所管

〔質疑〕白石市外二町組合負担金・補助金について上限枠を設けるべきではないのか、伺いたい。

〔答弁〕全員協議会で公立刈田総合病院改革プランによる運営費補助金の負担が説明されている。医師不足による特殊事情と市民の安全・安心の観点から、補助すべきと考えているが、上限枠については今後の検討課題である。

〔質疑〕白石市民バス運行委託料について、70歳以上が無料となっているが、有料化の考えはなかったのか伺いたい。

〔答弁〕現在、70歳以上、中学生以下、障害者等が無料となっているが、運賃が安すぎなどの意見もいただいているので、路線など全体の見直しとあわせて今後検討を行っていききたい。

〔質疑〕白石地域パワーアップ

事業補助金(鬼小十郎まつり)について、現在の戦国武将ブームを逃さないような、インパクトを与える事業を行う必要があるのではないのか伺いたい。

〔答弁〕4月からは戦国武将のアニメ化が決定し、テレビ放映開始と聞いており、本市への集客のチャンスでもあることから、これを起爆剤としてそれらの事業を行うよう考えている。

建設産業所管

〔質疑〕観光パンフレットの内容の検討及びメディアの活用を検討しているか伺いたい

〔答弁〕デスクレイネーションキャンペーンを通じ、マスコミの力をまざまざと感じさせられるとともに、J R東日本の協力が非常に大きかった。

今後、いわゆるポストD Cに取り組みにあたっては、いかにマスコミ等のメディアにとりあげてもらえるかを念頭に、積極的に観光情報の発信を行うって参りたい。

また、市民が自ら自信をもって白石をPRしてもらうための具体的な施策として種々のイベント等への参加を促すとともに、白石を訪れる観光客に対しては「おもてなしの心」で白石のファンとなってもらうなど住民レベルでの観光宣伝につなげようと努力している。

〔質疑〕白石市転入者等支援市営住宅補助金の事業内容について伺いたい

〔答弁〕転入者を対象に特別公共賃貸住宅の家賃補助を行うおうとするもので、その限度額を2万円とし、36カ月間の補助を行うおうとするものである。

なお、既存の入居者の家賃についても4万円を超えた部分に対し2万円を限度として補助し、公平性を確保するものである。

〔質疑〕新婚家庭家賃補助事業補助金における補助の対象を40歳未満とした理由について伺いたい。

〔答弁〕対象年齢の夫婦に、この住宅施策により白石に住んでもらいたい、各種子育て支援施策により子育てをしていただき、定住促進奨励金を活用して白石市に家を建て、定住してもらおう一連の施策で、4万人都市復活大作戦の一翼になうものである。

教育民生所管

〔質疑〕放課後児童クラブが4月から分割されるのに伴い、人員配置をどのように考えているのか伺いたい。

〔答弁〕現在行っている第一児童館及び第二児童館では、それぞれ正職員二人、臨時職員一人をもって対応している。

分割され新たに事業を行う第一小学校及び第二小学校については、それぞれ正職員一人、臨時職員一人をもって対応する準備を進めている。

〔質疑〕生活扶助費が年々増加しているが、現在の状況はどのようになっているのか伺いたい。

〔答弁〕生活扶助費だけでなく全体的に各扶助費が増えている。

平成21年1月末現在で、保護世帯17世帯、保護者数233人、人口千人当たりの保護率は6.09パーミルとなっている。平成10年は1.97パーミル、平成15年3.67パーミルであり、保護率は大きく伸びており、比例して保護費も増加している。

